

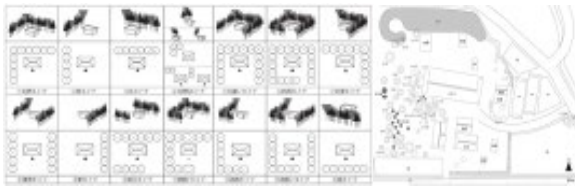
令和3年度の研究（または活動）内容

<調査・研究活動>

2021年度は、主に3つの調査・研究活動を行なった。

1. 農村景観調査

世界農業遺産に認定された「大崎耕土」の農村景観を調査している。本年度は、屋敷林のマクロ分析に加え、現地での実測調査も行った。



(屋敷林調査の例：建築学会大会原稿に掲載)

2. 町並み景観調査

大館市・つがる市の歴史的市街地を対象として、町並み景観を記録した小冊子の制作に取り組んだ。



(町並み調査の例：建築学会大会原稿に掲載)

3. 農村景観の保全 WS

農村部に現存する民家・古屋の保全活動を継続的に行なっている。

これらを活用することで、地域の皆さんに当該地域における景観要素としての魅力を発信する機会になると考えている。



(生田地区の民家再生 WS と地域報告会の様子)



*学外講師：1名参加（学外協働研究者

（南三陸町の民家再生 WS の様子）

<研究会>

本年度は、以下の7回の研究会を開催し、そのうち2回は公開研究会（*）として外部講師を招いてシンポジウム形式の研究会とした。また、4回目の研究会は、合同調査 WS を行い、学外での研修会とした。



- (1) 開催日時：4月6日 16時～17時30分 場所・方法：オンライン
内容：今年度の方針について
- (2) 開催日時：5月13日 17時～18時30分 場所・方法：オンライン
内容：各地の景観要素の抽出作業の報告
- (3) 開催日時：6月17日 17時～18時30分 場所・方法：オンライン
内容：各地の景観要素の抽出作業の報告
現地調査 WS の打合せ
- (4) 開催日時：7月21日 13時～16時00分（調査 WS）
場所・方法：秋保・対面
内容：秋保地区の景観構成要素の抽出



（秋保調査 WS の様子）

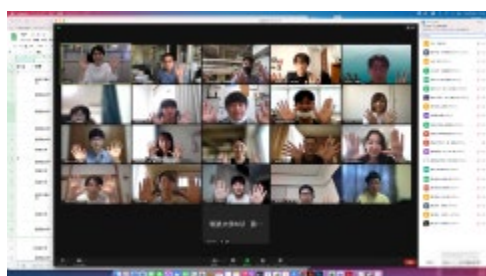
- (5) 開催日時：9月1日 13時～14時30分
 場所・方法：オンライン
 内容：調査WSの報告会
- (6) 開催日時：12月17日 15時～16時30分 *
 場所・方法：オンライン講演（対面参加者あり）
 内容：建築行政からみた地方創生（青森県の取り組み）
 学外講師：青森県庁より2名
 参加者数：オンライン参加者：28名、現地参加者：4名
 なお、上記参加者数に教員も含まれます。
- (7) 開催日時：1月13日 17時～18時30分 *
 場所・方法：937教室・対面（学外参加者：オンライン）内容
 ：仙台の景観を考える
 学外講師：仙台市より2名
 参加者数：オンライン参加者：12名、現地参加者：29名



（シンポジウムのポスターと会場の様子）

<学外WS>

景観研究に関するテーマで、他大学との共同WSを開催した。これらのWSは、昨年度に引き続きオンラインでの議論にとどまったが、有意義な議論が展開した。これらに加え、各種研究の成果を学外にて報告会を行なった。



（他大学との共同WSの様子 [zoomでのオンラインWSの様子：鹿児島県・茨城県・宮城県が繋がっています]）



(大崎耕土でのオンライン研究報告会の様子)